

受け継ぐ

金属加工のプロ集団
柔軟かつ独創的発想で
顧客ニーズを具現化する

株式会社イエムラ(名取市)

技術部主任 目時 傑さん Masaru Meiki

＜曲がりの仕上がりを目視で確認する＞

株式会社イエムラは1994年の創業。以来、宮城県、東北6県、首都圏と着実に市場を拡大してきている。ステンレス鋼材の加工に特化し、主力製品は、ビル建築用のステンレス製ドアやサッシ、手すりである。最近では一般ビル関連にとどまらず、インフラ関連施設からの金属製品の注文も増えている。イエムラは掲げる経営理念は実に崇高だ。「私たちは世界中の家族を守るために、家族を守るヒトとモノをつくり、それを地球に残すことで社会に貢献します」という。「つくるヒト」がいないと「のこすモノ」が作れない。「つくるヒト」も作っていく使命がある、という考えに立ち、人材育成に大いに力を入れている。

「夢」や「希望」を
「カタチ」にする
技術力の高さが
首都圏まで知れ渡る

また、自社の特長として、「創造力」「技術力」「提案力」の3つを挙げる。フルサイズオーダーメイドにこだわり、営業スタッフは顧客の要望に合った提案を徹底して追求。そして、オーダーを技術部の練達者が具現化する。この連携がイエムラにはしっかりと確立されている。「顧客の「夢」や「希望」を実物の「カタチ」にする」という信念は揺るがない。

曲げ加工を行う装置であるベンダーに協力してステンレス板を投入する＞

興味を持っていた
ものづくりの世界に
自身の適性を
見いだした

齋藤直也さんが仙台城南高等学校を卒業し、イエムラに入社したのは2018年のことだ。「親族に大工がいたこともあり、ものづくりに興味がありました。就職担当の先生に相談したところ、勧められたのがイエムラでした。ステンレス加工がどういふものか、紹介されるまで全然知らなかったという齋藤さんが、今は充実の日々です」と笑顔を見せる。

「入社以来つきっきりで教えてきたという主任の目時傑さんはまず、齋藤さんの真面目さを高く評価する。「なに

せ、入社してから無遅刻、無欠勤ですよ。素晴らしいですよ。それから、加工装置や工具を使う仕事ですから、どうしてもけがはつきものなんです。が、大きいけがもしていません。飲み込みもすぐ早く、教えたことはすぐに行き届くようになります。扱いが難しい機械も、今は全幅の信頼を置いてらせています」



技術部 齋藤 直也さん Naoya Saito

技術の習得は当然
近い将来には
現場全体を見渡せる
頼れるリーダーに

齋藤さんは既に、ステンレスに溝を掘るプレーナーという機械の操作技術が高いレベルで身に付けているのだという。「0.1ミリの世界ですので、操作は難しいんです。でも、すぐにできるようになりましたね。やっぱり齋藤くんはこの仕事に向いています(笑)」

(目時さん)
それでも、齋藤さんいわく「目時さんと私では技術が天と地の差」なのだという。「本当に目時さんは目をかけて



＜曲げ加工以降の組み上げる作業も徐々に教わっている。さしかなの扱いも手慣れてきた＞

株式会社イエムラ

所在地 名取市飯野坂南沖 67-1
代表取締役社長 家村秀也 □資本金/3,000万円 □設立/1994年7月 □従業員数/23人
事業内容 ステンレス製サッシなどビル建築用建材の販売、製造、工事
TEL 022-384-5310(代表) <https://www.sus-iemura.co.jp/>